「地方」が果たす役割も大きい

「自民党をぶっ壊す」。〇一年の自民党総 「自民党をぶっ壊す」。〇一年の自民党総 大勝をもたらしたと言える。 「自民党をあった。小泉が仕掛けた爆弾が八年 後に破裂した形だ。小泉が仕掛けた爆弾が八年 後に破裂した形だ。小泉が仕掛けた爆弾が八年 が説得力を発揮した。人々は「自民党的な が説得力を発揮した。人々は「自民党的な が説得力を発揮した。人々は「自民党的な が説得力を発揮した。人々は「自民党的な が説得力を発揮した。人々は「自民党的な るもの」との決別を小泉に対する当時の高 が説得力を発揮した。人々は「自民党が三百八 大いさいというに入れると 泉に大勝をもたらしたと言える。

しかし、カリスマを演じた小泉の後に政権を担った安倍晋三、福田康夫は「改革」 に、・Y(漢字読めない)総理」麻生太郎が登場。自民党的なるものが「ぶっ壊れる」 ことを期待した有権者が〇九年総選挙でつことを期待した有権者が〇九年総選挙でつことを期待した有権者が〇九年総選挙でつことを期待したというわけだ。総理三人がで送場。自民党的なるものが「ぶっ壊れる」 ことを期待したというわけだ。総理三人が登場。自民党的なるものが「ぶっ壊れる」 ことを期待したというわけだ。総理三人がで迷走」「自壊」「自殺」と転落への三段が「迷走」「自壊」「自殺」と転落への三段ができ場である。 がの「自壊」と評したほうが実態に近いだりの「自壊」と評したほうが実態に近いたいると、

六年に小沢民主党の元で始まった。○七年「国民の生活が第一。」。このフレーズは○たすら一つのキャッチコピーを繰り返した。ルも勝敗を分けた要因の一つ。民主党はひルも勝敗を分けた要因の一つ。民主党はひ有権者に対する自民、民主両党のアピー

とも、麻生が終盤に叫んだ「保守の政治」 は思われないが)。 や口汚いほどの民主党攻撃は電通の企画と 店は自民党が電通、民主党は博報堂(もっ 対照的だ。ちなみに、PR担当の広告代理 ガティブキャンペーンを繰り返したのとは と訴え、選挙戦終盤には民主党に対するネ た自民党が「政権選択ではなく政策選択だ」 を発揮したと思われる。「責任力」を掲げ 権公約をアピールするうえでも大いに効果 ランド化し、マニフェストを中心とした政 のシンプルで、ポジティブなキャッチコピー でも「国民の生活が第一。」を繰り返し、 まにして……」のナレーションが続いた。 こうに良くならない、行政のムダをそのま が流れ、「景気が上向いても暮らしはいっ 参院選のテレビCMでも「生活が第一です」 は「わかりやすい政党」として民主党をブ その参院選で民主党は圧勝。○九年総選挙 政権交代。」のコピーを新たに掲げた。こ

党候補は個人後援会も持たないまったくの 改権文代への追い風は次期総理とみなさ 政権交代への追い風は次期総理とみなさ 政権交代への追い風は次期総理とみなさ 政権交代への追い風は近期後間 大き (現総理)の地元、衆院北 に詰める系列の道議や市議らは厳しい逆風 に詰める系列の道議や市議らは厳しい逆風 に詰める系列の道議や市議らは厳しい逆風 に詰める系列の道議や市議らは厳しないと目の のは早計だ。鳩山と競った三十万一千票を獲得。 のは早計だ。鳩山と競った三十八歳の自民党が足腰立たないほど崩壊したと考える のは早計だ。鳩山と競った三十八歳の自民党が足腰立たないほど崩壊したと考えるのは早計だ。鳩山と競ったといまったくの

大は、ここででは、それで、しょって、おいで、まで、これで、 国民党は底堅い支にもかかわらず、 基礎票に近い約八万票は新人で、 最後まで「知名度不足」に悩んだ

ワーを失ったのは暮らしの課題一つひとつ といった敗因分析。党再生に向けては「長 交わされた。「党のおごりが原因だ。総理 自民党各支部の役員会では様ざまな議論 ことはない。小選挙区選挙ではこういうこ と議員が果たす役割もまた大きい。 などマニフェストの政権公約をどのように 「子ども手当て」創設、揮発油税など「暫 幕が上がったばかり。外交政策をはじめ、 いるのは間違いない。「政権交代」劇場は の参院選を反転攻勢の機会としてにらんで などの声があがった。そう語る誰もが来年 リオを地方からどのように築くかが課題だ」 でこなかったからだ」「自民党再生のシナ 老に引退を求め、若手を育てる必要がある」 て自民党の選挙を担う時代ではなくなった」 がった」「地元企業が人もカネも手当てし が何度も代わったことが今回の結果につな いくかが課題だ」。敗れた選挙を総括する 生の足がかりを地方からどのように築いて とが起こり得るということだ」「自民党再 して負けた。 注目されているが、両党にとって地方組織 実現するか、新政権の立ち上がりが大いに 定税率の廃止」「高速道路の原則無料化」 にきちんと向き合って有権者の心をつかん 「地方を拠りどころにしてきた自民党がパ 「党本部と国会議員の責任で負けるべく しかし、必要以上に悲観する

(桂